

にしていますが、今回の災害を踏まえて、マニュアルの整備、再点検をしていくように設置者の社会福祉協議会に要請しました。町立保育園についても、具体的な対応策を検討していきます。

Q 災害時、毎夜2時3時までの消防団の活躍があった。町の消防団組織の状況は？

A 現在、白鷹町の消防団は、670人の定数を満たしていません。このたびの災害においては町民の安全確保のため各地で活躍いただきました。お礼を申し上げます。

庁舎再配置について

Q 基本的には現在の場所に再配置する考えのようだが、非常時の避難施設ということも考えて検討してほしい。

A 庁舎、中央公民館、図書館、防災センターは一体的に整備することを基本に検討しています。あわせて、非常時には避難所となる機能を有した施設にしたいと考えていま

す。また、消防分署は単独で整備しますが、大きな災害時には連携できるような配置を検討していきます。

Q 防災センターとの一体的な整備に経費はいくらかかるのか。また、いつまでに整備するの。

A できるだけ町内、県内の木材を使って整備したいと考えています。また、国や県の補助が受けられるよう努力をしていきます。今年度中には基本構想を策定し、そう遅くない時期に町民の皆さまにもお示しし、ご意見をいただきたいと考えています。

学校の統合について

Q 統合に向けた東中学校の改修期間中の臨時の昇降口に雨をしのぐ屋根がないので、仮囲いを設置するなど対応ができないか。

A 工事期間中は不便な部分もあり、ご迷惑をおかけしています。冬期間になれば降雪によりさらに生徒たちが不便

になるため、早急に対策を検討いたします。

Q 鷹山小学校は、山形方面から国道348号を来ると、町の入り口に建つランドマークとなり得るとも良い建物だと思ふ。統合後はずいぶん顔として活用してほしい。

A 鷹山小学校は、まだ新しく、町の大切な財産であります。基本的には公共的な施設としての活用と考えていますが、国、県などの意見も聞きながら、どのように活用していくかを検討していきます。

その他

Q コミュニティセンター化について、平成27年4月から移行の予定とのことだが、進捗状況を説明いただきたい。

A センターを運営していく「地区経営主体」を地区ごとに立ち上げ、具体的な事業についての地区計画を策定していただき、その計画に沿って予算編成、職員の採用等をしていくこととなります。これ

まで、区長等を通じて説明する機会を設けてきましたが、今後、各地区公民館にも説明していきます。平成27年度からの移行に、引き続きご理解ご協力をお願いします。

Q 学校給食共同調理場の民間委託についてはどこまで進んでいるのか。子どもたちは今の給食をとっても楽しんで食べている。現在の良いところを残しつつ民営化を進めてほしい。

A 民間委託は平成28年4月から考えており、町内の業者に委託し雇用の場もつくっていきたく考えています。委託後でもできるだけ町内産食材を使い、安全安心な給食を提供できるようにしていきたいと考えています。

Q 今回の災害のような非常時に動いてくれる若い人が増えるように、また、白鷹町に残ってくれるように、何か対策を考えているか。

A 年間の出生数が100人となることを目標に掲げた「子ども100人プロジェクト

」に取り組み、子育てしやすい環境整備として、多子世帯の保育料無料化や医療費無料化を実施、また、働く場所の確保として、企業誘致や企業支援などに取り組んでいます。少子化問題は解決が難しい問題であるため、情報があればどんなことでもお寄せください。

開催月日	地区	参加者数
8月7日	蚕桑地区	37人
8月8日	鮎貝地区	49人
8月9日	荒砥地区	37人
8月20日	十王地区	60人
8月23日	東根地区	61人
8月26日	鷹山地区	53人
合計		297人

たくさんのご参加ありがとうございました。

この他にいただいたご意見をまとめたものを役場総務課企画室情報係、各地区公民館に配置していますのでご覧ください。また、町のホームページでもご覧いただけます。

問い合わせ

総務課企画室情報係
☎ 85-6121